事　務　連　絡
令和８年７月10日

各都道府県知事　殿

厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課
（公印省略）

全国がん登録の届出項目の追加（被保険者番号等の収集）について（再周知）

がん登録制度の運営につきましては、平素より格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和９年１月１日より全国がん登録の届出項目に被保険者番号等を追加することについては、別添１のとおりお示ししているところですが、今般、がん登録支援ソフト「Hos-CanR」※1の改修及びそのリリースを行いましたので、別添２（国立研究開発法人国立がん研究センター作成）をご参照いただき、病院等における届出の実務にあたりご活用いただくよう、貴管内関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願いします。

なお、都道府県への届出にあたっては、「GTOL（がん登録オンラインシステム）」※2又は「GTS（がん登録共通届出システム）」※3を使用されていない病院等もあるかと存じますが、今般、別添３（国立研究開発法人国立がん研究センター作成）のとおり機能改修を行っておりますので、安全かつ簡便なGTOL（Webフォーム方式）又はGTSをご活用いただくよう、併せて貴管内関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願いします。

※１：Hos-CanR（ホスキャナ）は、医療機関におけるがん登録業務の正確性・効率性を向上させるために開発された専用ソフトウェアであり、ローカル環境で動作する通信を伴わないアプリケーション（届出支援システム）。届出票の提出で必要なCSVファイルの出力も可能。SQL server 上で稼働しシステムを安定化。導入時に Microsoft(R) SQL Server(R) 2022 Express（無償版）が自動的にインストールされ特別なサーバー機の導入は不要。日々の登録データのバックアップも可能。

※２：GTOL（がん登録オンラインシステム：Gan-Touroku OnLine system）は、各医療機関のコンピュータと全国がん登録のサーバを VPN 回線でつなぎ、全国がん登録の届出をネットワーク上で安全に行うことができる仕組み。厚生労働省の委託を受けて国立がん研究センターが2016年度に開発、2017年4月より利用、2023年5月にリニューアル。GTSでの届出を行う病院においても、遡り調査等を行う際にはGTOLを利用している。

※３：GTS（がん登録共通届出システム）は、院内がん登録実施施設が院内がん登録症例集計へデータを提出する際に、同時に全国がん登録の届出をオンラインで行う場合のみ用いる。

別添１

健生発 0219 第 26 号
令和８年２月 19 日

各都道府県知事　殿

厚生労働省健康・生活衛生局長
（　公　印　省　略　）

がん登録等の推進に関する法律施行規則等の一部を改正する省令の公布について（公布通知）

がん登録等の推進に関する法律施行規則等の一部を改正する省令（令和８年厚生労働省令第 15 号。以下「改正省令」という。）が別添のとおり本日公布され、令和９年１月１日（第４条の改正規定については公布の日）に施行することとされたところです。

今回の改正の趣旨及び内容は下記のとおりですので、貴殿におかれましては、御了知の上、貴管内関係者へ周知いただきますよう、よろしくお願いします。

記

第一　改正省令の趣旨

がん登録等の推進に関する法律（平成 25 年法律第 111 号。以下「がん登録法」という。）第６条第１項の規定により、病院等は診療の過程で得た原発性のがんに関する同項各号に掲げる情報（以下「届出対象情報」という。）を当該病院等の所在地の都道府県知事に届出することとなっている。

また、がん登録法第８条第１項の規定により、病院等から届出対象情報の届出を受けた都道府県知事は、当該届出対象情報について審査・整理の上、がん登録法第５条第１項各号に掲げる情報等（以下「登録情報」という。）を厚生労働大臣に提出することとなっている。

今般、都道府県等における審査・整理業務の効率化のため、がん登録等の推進に関する法律施行規則（平成 27 年厚生労働省令第 137 号。以下「がん登録法施行規則」という。）を改正し、届出対象情報及び登録情報について厚生労働省令で定める事項の見直しを行うものである。

第二　改正の内容

（１）がん登録法施行規則の改正

○　届出対象情報について、がん登録法第６条第１項第９号の厚生労働省令で定める事項として、がんに罹患した者の医療保険被保険者番号等（地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律（平成元年法律第 64 号）第 12 条第１項に規定する医療保険被保

険者番号等をいう。以下同じ。）を追加する。

○　登録情報について、がん登録法第５条第１項第 10 号の厚生労働省令で定める事項として、がんに罹患した者の医療保険被保険者番号等及びＩＤ５（最初に定められた医療保険被保険者番号等を復号することができない方法により暗号化したもの）を追加する。

（２）生活保護法施行規則（昭和 25 年厚生省令第 21 号）の改正

○　（１）の改正に伴い、厚生労働大臣等以外の者が事務等の遂行のため受給者番号等の利用が特に必要な場合として厚生労働省令で定める場合について定める生活保護法施行規則第 22 条の５第２項について、所要の改正を行う。

（３）地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律施行規則（平成元年厚生省令第 34 号）の改正

○　（１）の改正に伴い、調査若しくは分析又は利用若しくは提供が国民の保健医療の向上及び福祉の増進に資するものとして厚生労働省令で定める情報並びに当該情報を収集する者として厚生労働省令で定める者について定める地域における医療及び介護の総合的な確保の促進に関する法律施行規則第８条第１項について、所要の改正を行う。

（４）その他所要の改正を行うとともに、所要の経過措置を設ける。

第三　施行期日

この省令は、令和９年１月１日から施行する。ただし、（４）のその他所要の改正については公布日より施行する。

国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

Hos-CanR（ホスキャナ）における被保険者番号等の収集について（別添２）

2026年6月

国立がん研究センターがん対策研究所

がん登録センター

Hos-CanRの概要

National Cancer Center Japan

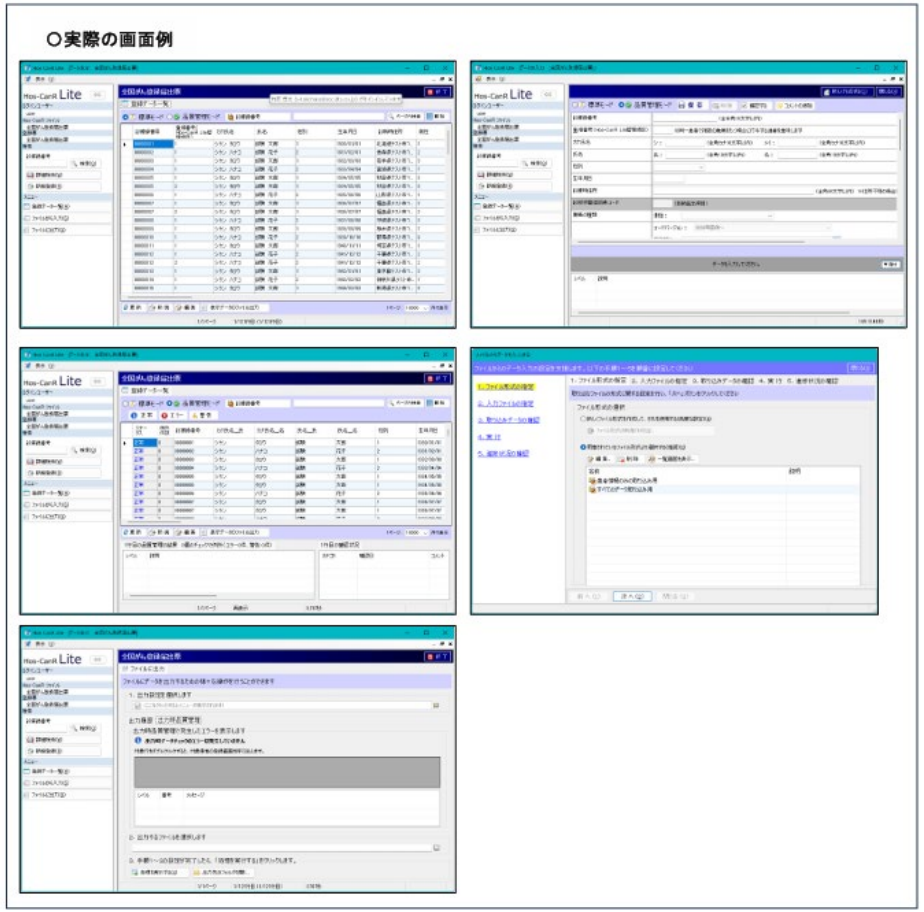
Hos-CanR Next

「院内がん登録標準登録様式 2016年版」に準拠した登録やデータの抽出が可能。
がん診療連携拠点病院等、院内がん登録を行っている施設で主に使用されている。



Hos-CanR Lite

「全国がん登録届出マニュアル」に準拠した登録やデータの抽出が可能。
Nextと比べて入力項目が少ない簡易バージョン。
院内がん登録を実施せず、全国がん登録の届出のみを行う病院や診療所で主に使用されている。



【参考】がん登録協議会第35回学術集会「がん登録支援ソフトHos-CanR（ホスキャナ）の利用状況と今後の展望」

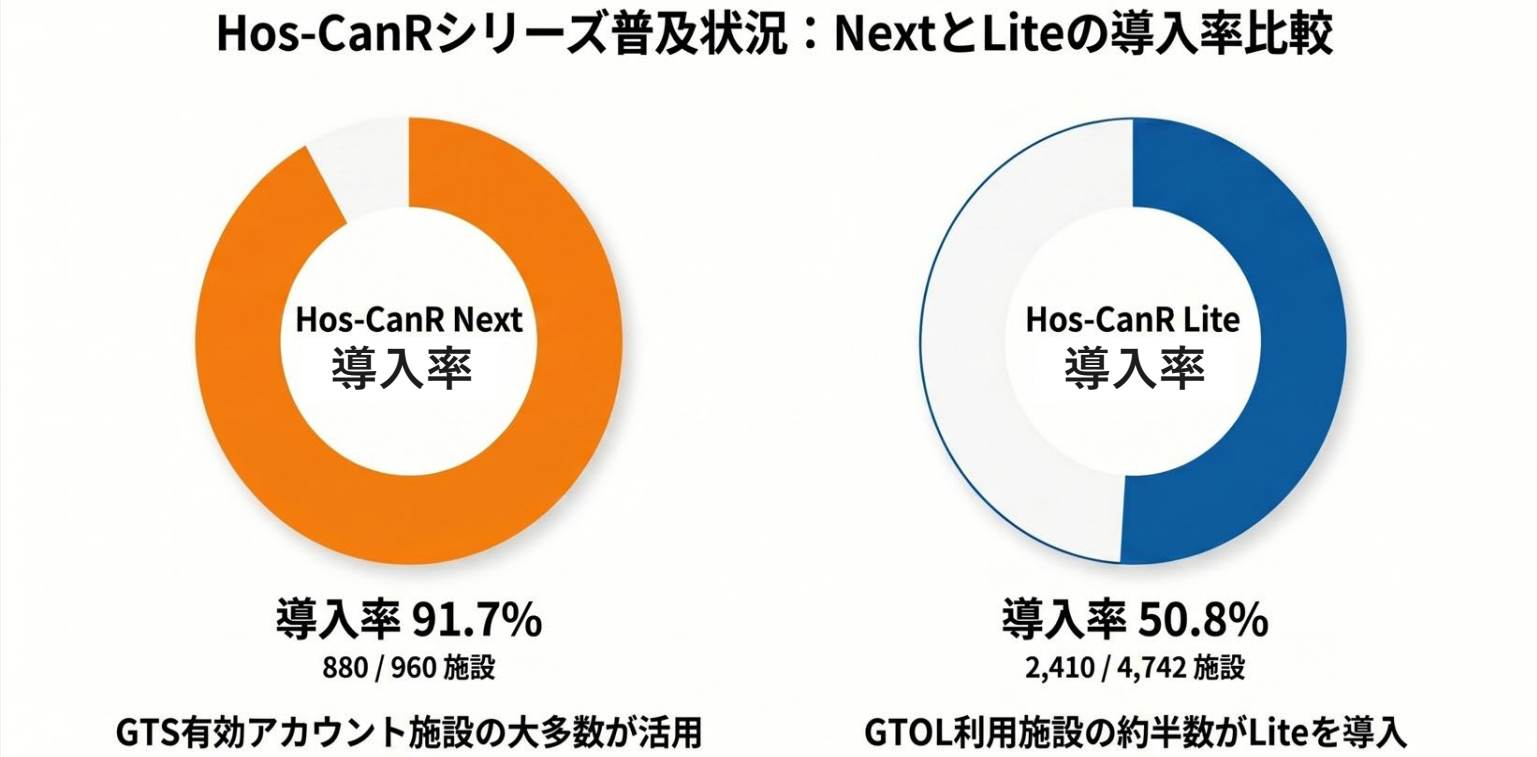
Hos-CanRの利用状況

National Cancer Center Japan

調査方法

・がん登録共通届出システム（GTS）有効アカウント数の内、Hos-CanR Nextダウンロード施設数の割合を算出（院内がん登録）

・がん登録オンラインシステム（GTOL）有効アカウント数の内、Hos-CanR Liteのダウンロード施設数の割合を算出（全国がん登録）



【参考】がん登録協議会第35回学術集会「がん登録支援ソフトHos-CanR（ホスキャナ）の利用状況と今後の展望」

Hos-CanR被保険者番号等対応

- 被保険者番号等（4項目）を登録・取込・出力できるようアプリケーションおよびデータベースを更新。
- Hos-CanR Next（最短6/24: SP1.68）およびLite（7/6: SP1.46）は本リリースから登録・取込可能。
- Nextの出力機能は院内がん登録の2027年症例の提出時期（2028年6月頃）まで機能を付与しない。（GTSも同時期に改修）
- Liteの出力機能は2027年1月から対応する。

登録画面（直接入力・転記する方法）

National Cancer Center Japan

- ID項目と氏名の間に項目を配置（変更可能）

【Next】

患者ID番号	
被保険者番号	保険者番号: 被保険者証記号:　被保険者証番号:　被保険者証枝番:
氏名	氏名(フリガナ) :

【Lite】

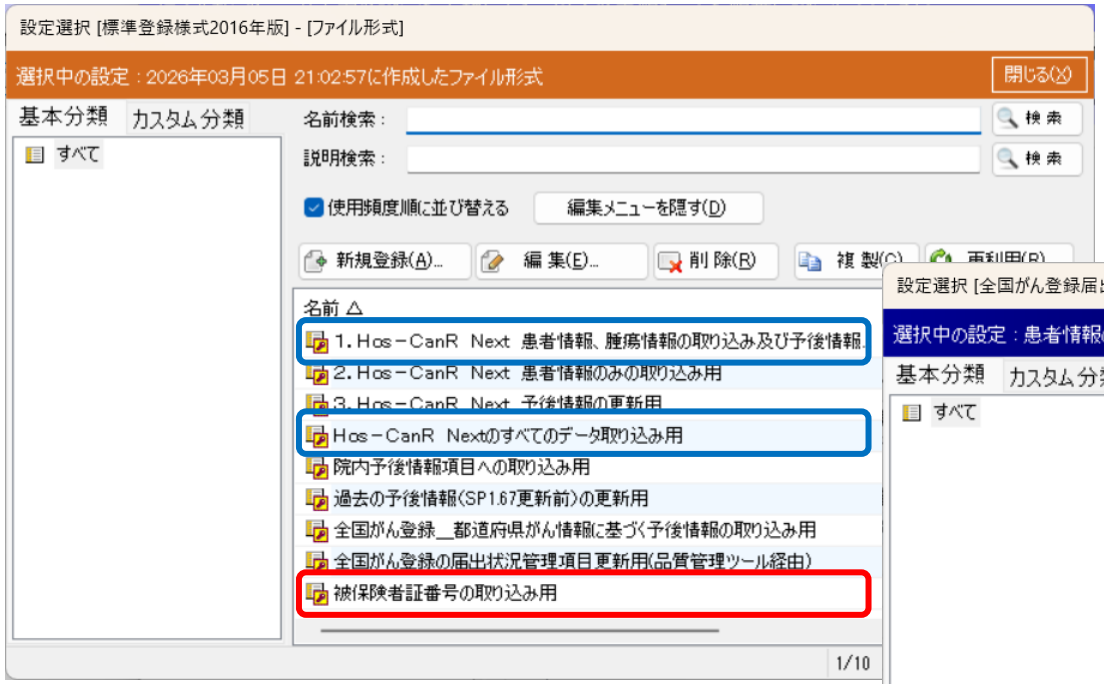
診療録番号	(全半角16文字以内)
重複番号(Hos-CanR Lite管理項目)	※同一患者で複数の腫瘍をもつ場合に付与する連番を意味します
被保険者番号	保険者番号: 被保険者証記号:　被保険者証番号:　被保険者証枝番:
カナ氏名	シ :　(全角カナ10文字以内)　メイ :　(全角カナ10文字以内)

インポート画面
（他のシステムで作成したCSVファイルを取り込む方法）

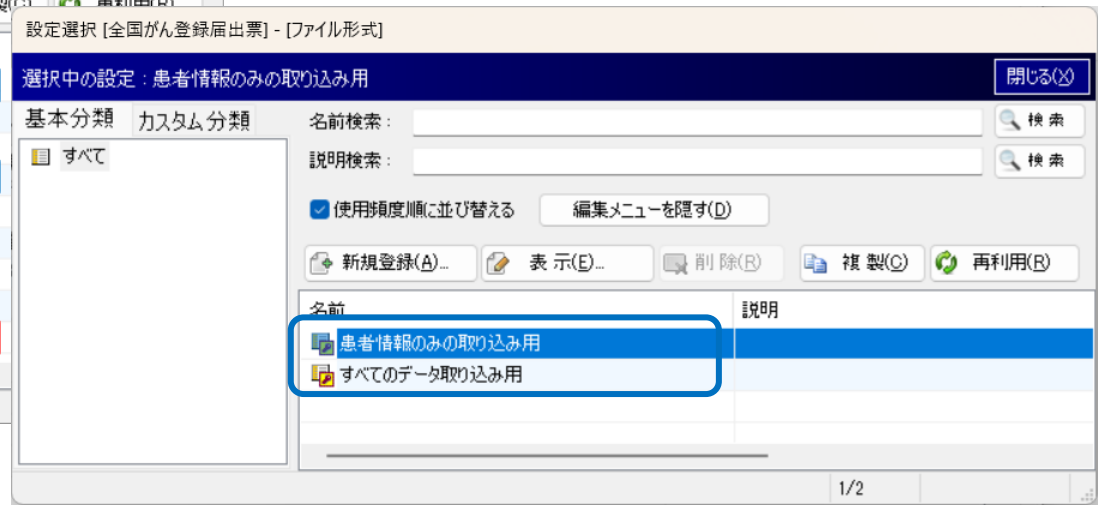
National Cancer Center Japan

SP適用時に被保険者番号用の設定を追加。電子カルテ等、他のシステムからのインポートを想定したもの。Nextは専用の設定を追加および既存の設定を更新、Liteは既存の設定を更新のみ。

【Next】 ※赤枠：追加、青枠：更新



【Lite】 ※更新



Hos-CanRインポート設定
（あらかじめHos-CanRへ実装している様式）

National Cancer Center Japan

- **Next**

登録票：標準登録様式2016年版
設定名：被保険者証番号の取り込み用

※[患者ＩＤ番号]は長さ30。
※インポート時に、レコード追加or更新を指定して取り込む。
※ユーザーは独自のインポート設定を作成可能。

項目名	カテゴリ	型	変換	カテゴリ別のキー	項目の指定
患者ID番号	患者情報	文字列型		☑	患者ID番号
保険者番号	患者情報	文字列型		☐	保険者番号
被保険者証記号	患者情報	文字列型		☐	被保険者証記号
被保険者証番号	患者情報	文字列型		☐	被保険者証番号
被保険者証枝番	患者情報	文字列型		☐	被保険者証枝番

- **Lite**

登録票：全国がん登録届出票
設定名：すべてのデータ取り込み用、患者情報のみの取り込み用

※インポートはレコード追加のみ対応。

項目名	キー	型	変換	項目の指定	オプション設定
保険者番号	☐	文字列型		保険者番号	
被保険者証記号	☐	文字列型		被保険者証記号	
被保険者証番号	☐	文字列型		被保険者証番号	
被保険者証枝番	☐	文字列型		被保険者証枝番	

【Next/Lite共通仕様】
※データソースはCSV。

今後、被保険者証番号と被保険者証記号が「・」で連結されたデータなども取り込めるような設定（様式）を追加していく予定。

今後、実装される機能

- Hos-CanRエクスポート設定
  - Liteは2027年1月の収集開始に合わせて届出票の項目に追加予定。
  - Nextは2027年症例の提出に合わせて2028年6月頃に追加予定。
  - ユーザーは独自のエクスポート設定を作成可能。

- 品質管理チェック（Nextのみ）
  - 提出・届出が開始されるまでに実装。
  - チェック内容は既存の電子カルテ等やNCRの実装に合わせ、システム間の授受に支障がないようにする。

Hoc-CanRの被保険者番号等の対応スケジュール



	2026.6 Hos-CanR SP 更新（定期）	2026.7～9 院内がん登録2025 年診断症例の収集	2026.12～27.1 各種システム機能 改修、リリース	2027.1 全：2027年診断症 例において被保番 等収集開始	2028.6 Hos-CanR SP 更新（定期）	2028.7～9 院：2027年診断症 例の収集
Hos-CanR インポート機能	○	○	○	○	○	○
全国がん登録様式 エクスポート機能	×	×	○	○	○	○
院内症例集計様式 エクスポート機能	×	×	×	×	○	○
GTOL 被保番等入力機能	×	×	○	○	○	○
NCR 被保番受入機能	×	×	○	○	○	○
GTS 被保番提出機能	×	×	×	×	○	○

ご利用に際して

National Cancer Center Japan

・Hos-CanRの導入をご検討いただける方はこちらのページから詳細をご確認ください。

Hos-CanR（がん登録支援ソフト）：[国立がん研究センター　がん情報サービス　医療関係者の方へ]

利用条件・お申し込み方法

施設において、「Next」を利用するのか「Lite」を利用するのか各導入マニュアルもあわせてご確認いただき、ご検討の上お申込みください。

- 費用： 無料（ライセンス料なし）
- 著作権： 国立がん研究センターに帰属
- 注意事項： 利用者の自己責任・無保証での提供となります 。導入にはIT専門家の支援が必要な場合があります 。
- 申し込み： 医療機関限定。以下の専用フォームよりお申し込みください。

Hos-CanR Next導入マニュアル

Hos-CanR Lite導入マニュアル

Hos-CanR Next申し込みフォーム

Hos-CanR Lite申し込みフォーム

Hos-CanR

国立研究開発法人
国立がん研究センター
National Cancer Center Japan

がん登録オンラインシステム（GTOL）の機能改修について（別添3）

2026年6月

国立がん研究センターがん対策研究所

がん登録センター

本資料の趣旨

- がん登録オンラインシステム（以後、GTOL）の利便性とセキュリティ向上のため、届出の方式とその付帯機能を令和8年3月に刷新いたしました。
- 医療機関、都道府県がん登録行政担当者および実務担当者の皆様へGTOLの新機能に関する情報を共有することで、新しい届出方式への円滑な切り替えとさらなるオンライン化を促進するための資料です。

医療機関ユーザーの皆様へ

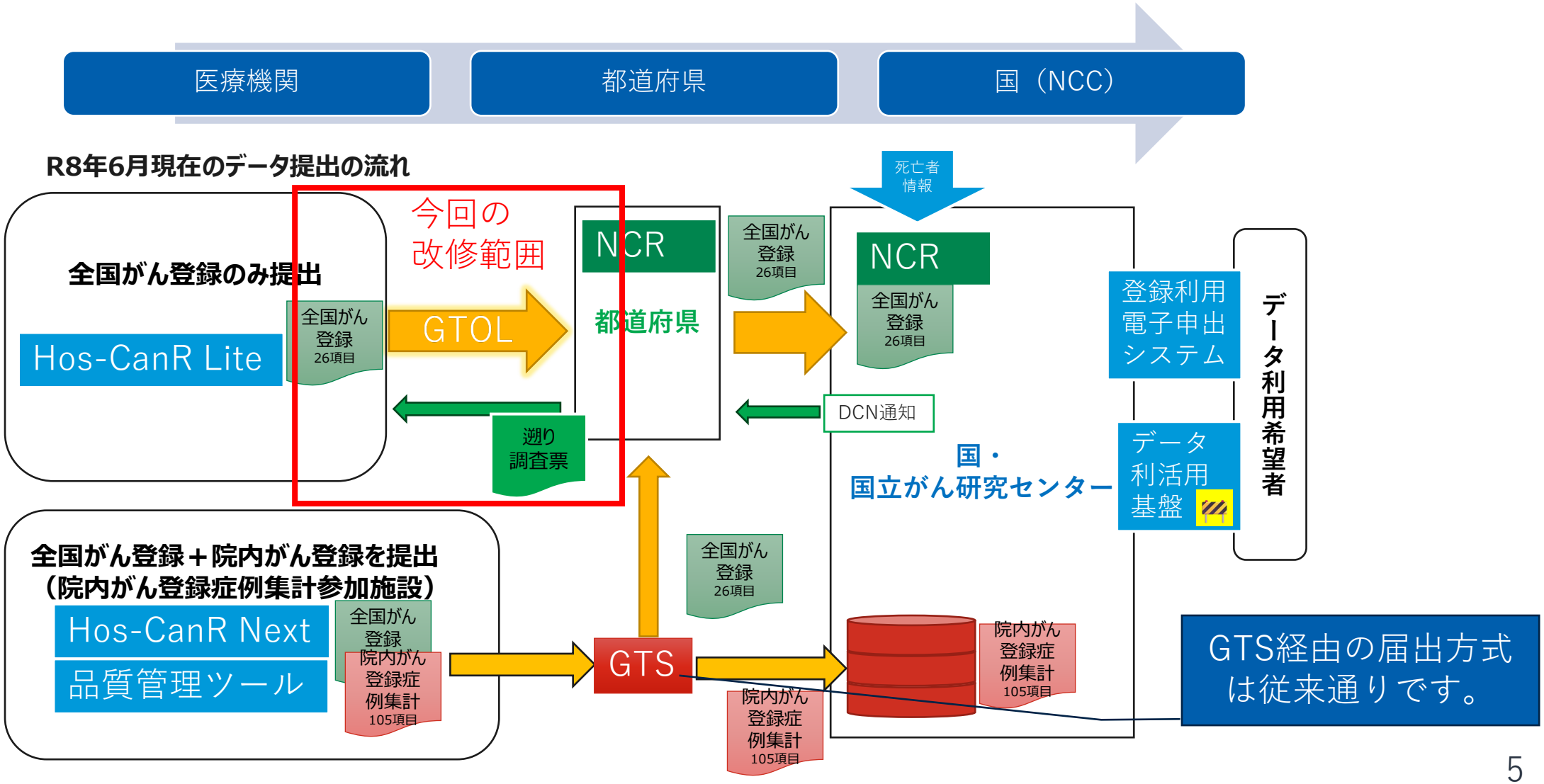
- 原則、Webフォームへ直接入力いただく（一時保存機能：上限100件まで）か、暗号化したCSVファイルを直接GTOLへアップロードいただくことで全国がん登録を届け出いただきます。
- VPN接続には新たに配布しているGUIツールをご活用ください。ファイルの暗号化、復号化にもご利用いただけます。
- がん登録共通届出システム（以後、GTS）経由で届出いただいている医療機関は従来通りGTSにて届出をお願いします。
- 従来方式（電子届出ファイル（PDF））での届け出を継続する救済措置については年内一杯での終了を想定しております。その後の非オンライン化施設への対応は引き続き検討中です。

改修の範囲と概要

- がん登録オンラインシステム（GTOL）の届出方式の変更
  - 電子届出票PDFからWebフォーム届出へ
    - Webフォームへの直接入力方式（①）
    - CSV形式のアップロードは引き続き可能（②）
    - 下書き保存機能（③）、履歴閲覧・出力機能（④）、
    - 全国がん登録システム（以後、NCR）と同等のチェック機能を実装（⑤）
- 暗号化/復号化のためのGUIツール（⑥）
  - GTOLを介したファイル授受には必須要件
  - VPN接続、GTOLへの接続、証明書更新も包含
- コミュニケーション機能（⑦）
  - 都道府県と医療機関とのセキュアな情報、ファイル共有が可能
  - 法20条に基づくデータ提供にも利用可能

全国がん登録の流れと関連システム

National Cancer Center Japan



Webフォーム届出①Webフォーム

National Cancer Center Japan



被保険者番号等の入力欄（令和8年末に実装予定）

National Cancer Center Japan

全国がん登録届出票

届出票の入力を行います。

①病院等の名称　○○○○　病院

②診療録番号　A12345　（全半角英数16文字）

被保険者番号等

③保険者番号　131086　（半角数字 6桁または8桁）

入力内容が正しくありません。保険者番号・被保険者証記号・被保険者証番号・被保険者証枝番の組み合わせを確認してください。

④被保険者証記号　（全角20文字）

⑤被保険者証番号　（全角・半角20文字）

⑥被保険者証枝番　（半角英数2文字）

Webフォーム届出②CSVファイルアップロード

National Cancer Center Japan

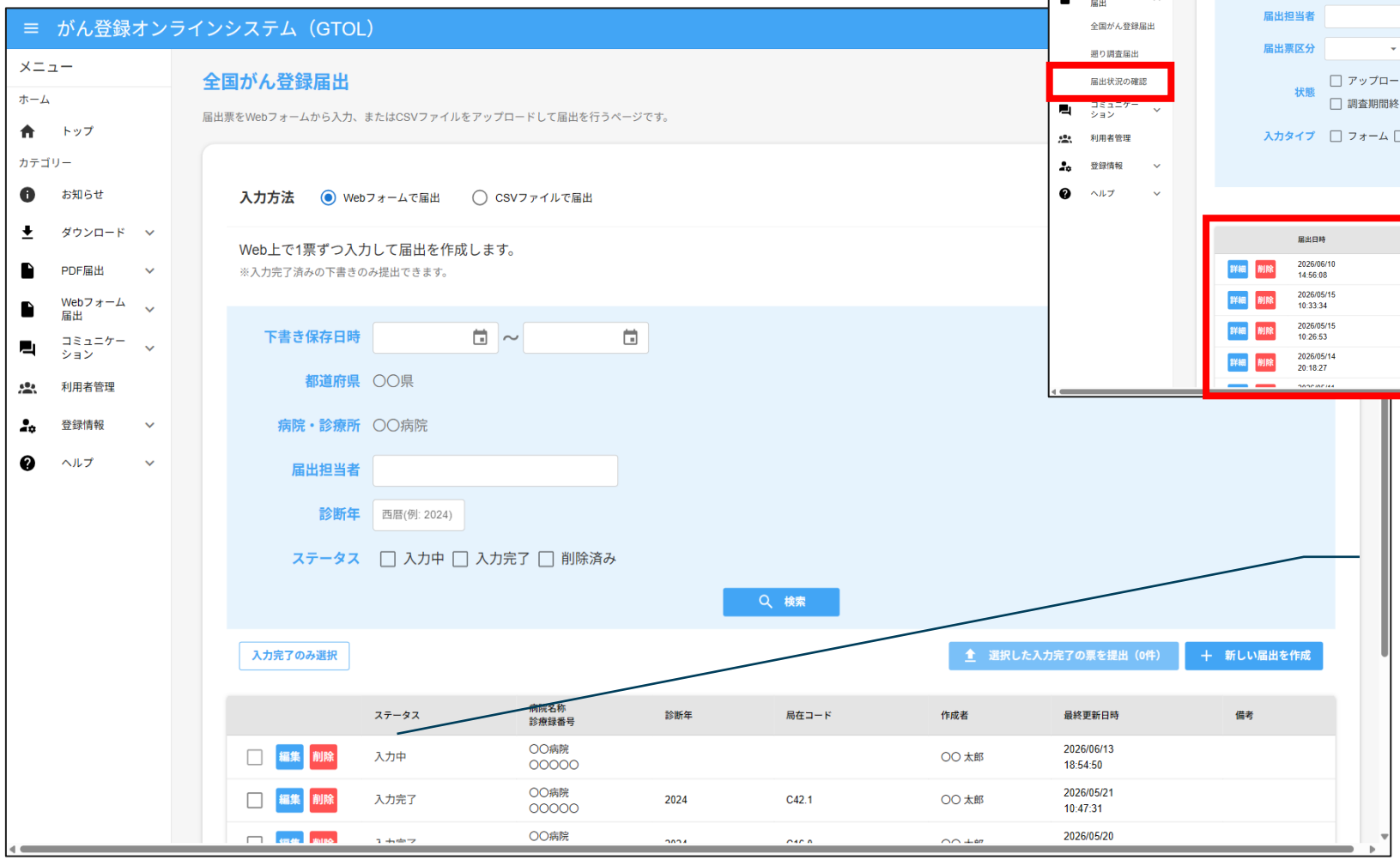


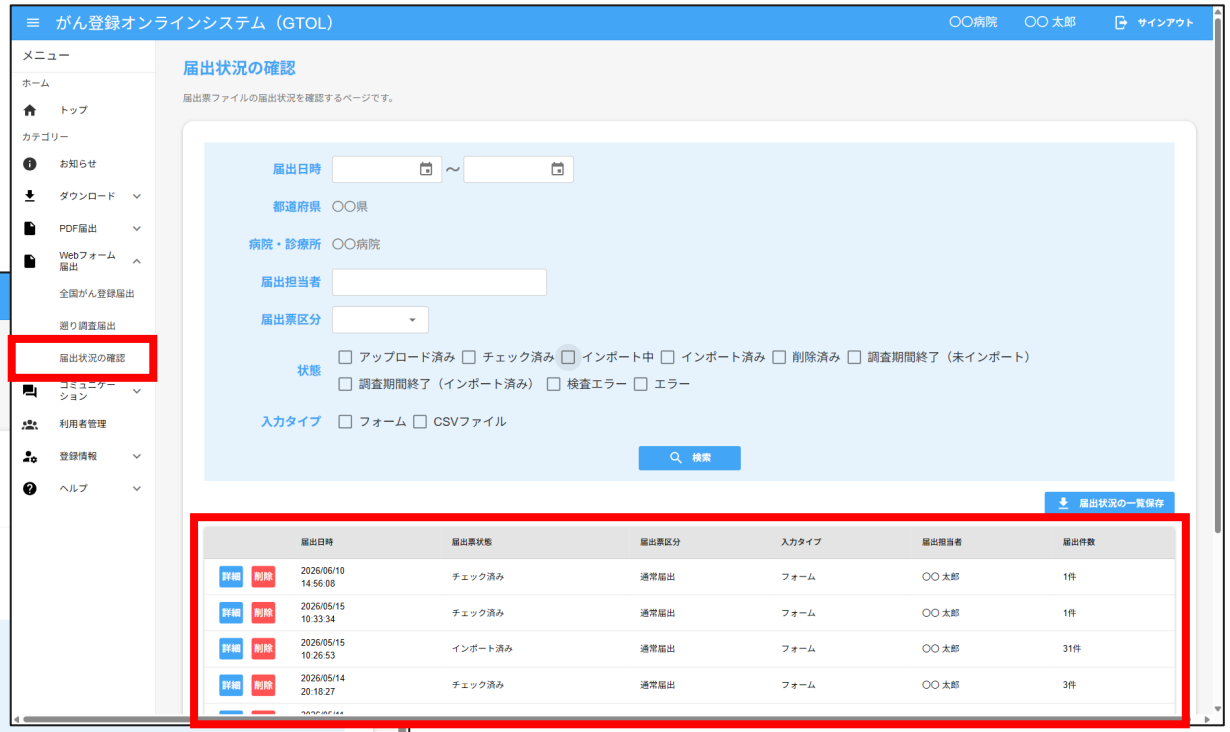
GUIツールで暗号化済のCSVファイル（.csv.p7m形式）のみ受付

ドラッグアンドドロップでも選択可能

Webフォーム届出
③下書き保存機能　④履歴閲覧・出力機能

National Cancer Center Japan





入力後のエラーチェックまで完了しても、ここに貯めることで一括で届出することができます。届出後はこの一覧には表示されなくなり、「届出情報の確認」画面にリストされます。

Webフォーム届出⑤エラーチェック

National Cancer Center Japan

- 電子届出票PDF、及びNCRと同じエラーチェックまで実装済。
- Webフォーム入力直後と、「チェックして保存」などを押下した際の2通り。



⑥GUIツール

National Cancer Center Japan





GTOL用のPCへインストールいただくことで、VPN接続、GTOL（ブラウザ）を開く、ファイルの暗号化・復号化、証明書の更新がこの画面内で完結します。

⑦コミュニケーションツール

- 都道府県と医療機関との間のコミュニケーションやファイル送受信をセキュアに行うための機能。法20条に基づくデータ提供にも利用可能。



CSV形式以外のファイルも暗号化し送ることが可能ですが、あらかじめGUIツール以外で暗号化されたファイルや圧縮フォルダなどは送信できない場合もございます。

セキュリティ要件

- VPN回線（IPsec-VPN）は従来通り
  - GUIツールの導入により証明書の更新を簡素化
- フォームへ入力した情報、およびファイルの暗号化については、3省2ガイドライン等に準拠したセキュリティ方式を担保
  - 統一基準群のRSA-OAEP方式に準拠
  - 届出ファイルはAES-256で暗号化
  - その他、従来方式よりもセキュリティを強化
- 国家サイバー統括室によるGSOC-ASM管理対象であり脆弱性についても迅速に対応

新旧対照表

National Cancer Center Japan

	機能改修前	機能改修後 （令和8年4月以降）
GTOLにおけるWebフォーム入力形式による届出	×	○
GUIツールを用いた暗号化・復号化	×	○
GTOLを介した都道府県と各医療機関のファイル授受 （20条提供含む）	△	○
証明書更新	証明書ファイルの 配置→適用	GUIツール上への ドラッグアンドドロップ
都道府県と各医療機関とのコミュニケーション機能	×	○
電子届出ファイル（PDF） ー全国がん登録届出支援サイト（ダウンロード） ーGTOLを用いた届出 ーファイル授受のための暗号化ツールとしての利用	○	○ (令和8年末に終了予定)

一次資料（がん情報サービス）

National Cancer Center Japan





https://ganjoho.jp/med_pro/cancer_control/can_reg/registration_hospital/e-rep/online.html

GTOLに関する問い合わせ窓口

National Cancer Center Japan

■医療機関ご担当者様

がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム

がん登録オンラインシステム専用問い合わせフォーム

https://entry.gtol.ncc.go.jp/questions/create